

ヘブライ人への手紙第5章と第6章

ジェファソンビル インディアナ州 アメリカ合衆国
1957年09月08日 朝

1 …の一ヘブライ人への手紙の。次に、7節のメルキセデク神権に入ります。そして、私たちはメルキセデクの神権から、贖罪のその素晴らしい日々に入り、贖罪を分け、分けています。次に、その偉大な信仰の章、第11章に入ります。そして第12章「すべての重みを脇に置く」。そして第13章、「その永遠の家は人間の手によって建てられたものではありません。しかし、この素晴らしい家を作られたのは神だけです。」なんて素晴らしい!

2 私たちの姉妹がそこに戻ってきたのを見てうれしいです、それはただ礼拝に入ったところです。私は彼女と彼女の夫に会います。昨日、私たちはある場所を横切って私たちの道を進んでいました…私はここインディアナでゲームの監視人になり、数年間パトロールすることで、あらゆる小さな亀裂や隅を知っていると思いました。私はあらゆる場所を知っていました。しかし、私は昨日、彼らがいた場所、つまみの上、新しい道で道に迷うことになったのでした。

そしてその女性は肺に癌があり、主は間違いなくその女性を癒されました。私たちは…ああ、そしてそれがどうやって来るのか、私たちはそこに座っていました。ロバーソン兄弟、彼はおそらく今日ここにいます。私は彼の妻とウッド兄弟はいらっしゃるので見えています。そして、私たちは古いトラックでロバーソン兄弟と私とウッド兄弟でそこにいました。そして、私たちはこのトラックを手に入れ、丘の頂上に登りました。そしてそこで主は癌をはっきりと示しました。そして、私たちはそこに立って、それが女性を去るのを見ました。私たちは自分の目で立って、それが女性から離れるのを見ました。そして彼女はウッド兄弟の妻に呼び戻しました。そして私に言っていた、彼女はその本当に黒いものを吐き出していました。そして、ここで彼女は今朝、教会に戻り、彼女と彼女の最愛の夫は主の中で素晴らしい時間を過ごしています。彼は素晴らしくありませんか?[会衆は「アーメン」と言います。一編集]

そして、私はそれを知りませんでした…ここでは、通常、周りの人々に、幻が起こることはめったにありません。これは私の家です。そして、つまり、教会で。

3 日曜日、一週間、私たちは…車椅子の人に会いに来た人がここに何人いましたか?盲目で、不自由で、バランスが悪く、精神的な神経がなくなり、メイヨーは彼をあきらめていました。そして—そして私のカトリックの医者友人が彼をここに送りました。そして、礼拝に来る前に、主はその人の幻を与えられました。あなたがたは皆それを知っています。そしてその方はこられて主がこう仰せになられるによって癒されました。分かりますか?そして立ち上がり、歩いて出て行って、彼の車いすを撮って、皆さんにも私にもそれを見ることが出来たのでした。そして、普通に彼の椅子を押して建物から出て行った。そしてバランス神経…ご存知のように、あなたがたは自分自身を保持することはできません、ほら、あなたにはただできないのです。そして何年もの間座っていました。

4 そして、昨日私がそこに着いたとき、その女性はちょうど2時に私が入ってくるのを見て、彼女を「癌で」と発音し、それから「主を仰せになられる」と言う夢を見ていました。彼女は癒されました。」そして—そして彼女は目を覚ました、そしてそれはちょうど2時でした。そして、主の御霊が降りてきて、そこに、彼女が持っていたその夢があり、主が解釈を与えられました。そして、彼女はその場で、私たちが見ていた場所で癒されました。なんて素晴らしい!

彼女の名前が思いつかない。それはなんですか?姉妹、あなたのお名前は?ウォルトン、ウォルトン姉妹、後ろの方に座っておられます。ウォルトン姉妹、立ち上がっていただけますか?御気分をお尋ねしたいのです。[ウォルトン姉妹は、「ただ素晴らしい」と言います。一編集]アーメン。それは良い、素晴らしい、そして一級品の気分です。彼はとても良い方で、そのように私たちに祝福して下さいます。ですから、我々は、神の偉大なる図りの上で、はるかに超えて豊かに図られることを期待しているのです。

5 医者はこれを彼女から遠ざけていました。彼は彼女に「彼女は片側からしか呼吸していない」と言った。それが何であったか、癌は横切って成長し、肺のその側の呼吸を遮断していました。がんは細胞そのものであり、生命そのものであるため、X線でがんを確認することはできません。そして、あなた—あなた—あなたただけ—あなた—あなたはX線で癌を直視しているだけです。見えません。

そして、しかし主は本当に…私たちはそこに立って、自分の目でそれを見ました。私たち自身の目で、それが動くのを見て、それが去るのを見てください。ですから、私たちはそのことにとっても感謝しています。

6 そして今、私たちが去っている間に、今週、私たちのために今祈ってください。そして、水曜日の夜の礼

拝のために、ネヴィル兄弟はおそらく私が中断したところから始めるでしょう。黙示録のこの素晴らしい連鎖の中で、今それを見逃さないでください。

私は多くの祈りが捧げられたことを知っています、そして私たちは神が祈りを聞いたことを知っています。しかし、私たちは今朝、本を読む前にほんの少しの祈りを捧げたいと思います。これで、この本を読むことができる人、この方法で読むことができる人、またはこの方法で開くことができる人は誰でもできます。しかし、悟りを開くためには神のみが必要なのです、それは、神だけがそれを行うことができるからです。

それでは、少し頭を下げましょう。

さて、父よ、あなたの愛する御子、主イエスの御名によって、私たちは今、最も謙虚に、あなたのしもべとして、あなたが私たちを通して語られるように服従するために来られます。人々の中で、みことばが神によって語られ、御霊によって聞かれるように、話す唇と聞く耳を割礼して下さい。父よそれを叶えて下さい。私たちが必要としているように、神のことばを受け取り、私たちに仕えますように。私たちは神の御名と栄光を求めます。アーメン。

7 さて、今朝読んで、私たちは勉強しています。私たちはそうではありません—説教もしていません。このヘブライ人への手紙を勉強しているだけです。何人が楽しんでますか？ああ、私たちは素晴らしい時間を過ごしています！そして今、聖書を間近で勉強しています。それは…しなければならない聖書全体が結びついています。聖霊によって一緒に置かれたとしても、その場所から外れた言葉は一つもありません。

さて、人は「聖書はそれ自体と矛盾している」と言いました。それが見たいのです。私は25年間それを求めてきましたが、まだ誰もそれを示していません。聖書は矛盾していません。もしそうなら、それは聖書ではありません。偉大で無限のエホバはご自身と矛盾することができなかつたので、聖書には矛盾はありません。それは人々の誤解にすぎません。

8 さて、少し背景を説明します。戻るまでです。さて、ヘブライ人への手紙は使徒パウロによってヘブライ人に向けて書かれました。彼はエペソ人にも手紙を書きました。それはキリスト教会であるエペソの人々にでした。1つはローマのローマ人へ。そして1つはガラテヤ人へ。そして1つはヘブライ人へ。

さて、そもそも聖書の教師であるパウロに注目しているのです。それが私たちが学んだことです。彼が偉大な教師、彼の時代の最も偉大な人の一人、ガマリエルの下に置いたこと。そして彼は旧約聖書に精通していました。彼はそれをよく知っていました。しかし、彼は旧約聖書で教師の下で訓練されていたので、キリストの道である道の迫害者になりました。しかし、教師は、通常は肉欲的です…何も悪いことを言わないでほしいです。

しかし、通常、男性が学校の教えとやり方だけを持っている場合、それは通常人工的なものです。ほら、それは学校の教義になるので、靈感を受けていません。今日はそれがあります。長老派、ルター派、ペンテコステ派、これらすべての学校には理論があり、聖書をこれに巻き込んでいます。

9 そして、それは旧約聖書でも同じでした。しかし、パウロはよく訓練されていて、その言葉によって聖句を知っていました。しかし、ご存知のように、聖書は、あなたがそれらをどれほどよく知っていても、御霊がそれらの命をを与えなければ、その文字は殺すのです。御霊は命を与えます。ほら、それは御霊によって命を与えられるか、生き返らなければなりません。御霊がみことばに命を与えてそれがあなたにとって現実のものにしないなら、その文字はただ知的なものになるのです。今日、私たちが非常に多くのクリスチャンを告白したり、クリスチャンを公言したりしているのは、キリストの知的概念です。

だから私たちは降りました。「まあ、彼は何かを感じなければなりませんでした。そして、あなたは何かをしなければなりませんでした。」そして、ああ、私たちはしばらくして、そのすべてに入ります。人は叫ばなければなりませんでした。メソジストは、それを受け取る前に、叫ぶ必要がありました。ペンテコステ派は、それを得る前に、異言で話さなければなりませんでした。そして、ああ、彼らの何人か、シェーカー(キリスト再臨信仰者協会)は、以前は振らなければなりませんでした。ええ。古い…彼らは上下に歩き、一方は男性、もう一方は女性でした。わかりますか？シェーカー。それから聖霊が彼らの上に来て、彼らを揺さぶりました。「彼らはそれを持っていました。」しかし、それはすべて素晴らしいことです。それらのどれも真理を持ってはいないのです。

10 神は御言葉の中に生きておられます。「信仰は、みことばを聞くことによって来るのです。」「信仰によって、恵みによって救われます。」あなたが振ったり、異言で話したり、あるいは何が起ころうと、何によっても。

15 そして、火の柱がイスラエルの子供たちを導いていたことがわかります。そして、それがこの地上で肉体化されたとき、私たちはある日彼が話しているのを聞き、彼は彼が火の柱であると主張しました。彼らは言いました、「あなたは私たちの父アブラハムよりも偉大だと言いますか？」

彼は、「アブラハムが生まれる前、私はあった」と言われました。あってあるものとは誰でしたか？燃える茂みの中の火の柱、あらゆる世代にわたる永遠の記念碑。その世代だけでなく、この世代、同じ火の柱。そして今朝、私たちはその写真さえ持っていること、彼が変わっていないことを感謝しています。彼は不滅の、永遠の、祝福された方です。彼は今も当時と同じことをして、それが私たちをどれほど幸せに感じさせてくれるかを示しています。

16 しかし、パウロがこの経験を受け入れる前に…主の天使が火の柱であり、それがキリストであったことを知って…さて、彼は契約の天使、それはキリストでした。モーセは、エジプトのすべての宝物よりも、キリストの民の苦しみに苦しむ、キリストに導かれることを選んだ方が良くと考えました。彼は火の柱の形をしたキリストに従いました。

それからキリストは、彼がこの地上にいたとき、「私は神から来たので神に戻ります」と言われました。彼の死後、埋葬、復活、栄光の体が陸下の右手に置かれ、とりなしをしました。パウロは再び彼を火の柱と見ました。彼の目をほとんど消す光。彼を盲目にした。

ペテロは彼が光として刑務所に入るのを見て、彼が出て行くときに彼の前のドアを開けました。私たちは彼が最初で最後で、アルパとオメガであったことを知りました。

そして、ここで彼は私たちと一緒にいて、今日、彼が当時行ったのとまったく同じことをして、彼自身を私たちに見えるようにして、それを科学の世界に見せています。

17 ああ、地球上の暗闇と混沌のこの素晴らしい時代において、私たちは地球全体で最も幸せな人々であり、喜びであることを知るためなのです。常に、人々が教化され、地球上のあらゆる種類の主義や物事が、そして今日でも、神の言葉と目に見える証拠によって、本物の生きている神は、神が私たちと一緒にここにいて、働いていることを示しています。彼がいつもしたように、動き、生き、行動します。これを持っているなんて特権的な人々なのでしょう。私たちは…すべきです聖書は、第2章で、次のように述べています。「我々はこれらの事をしっかりと早く握りしめているべきなのです。なぜなら、そのような大いなる救いを怠ったら、どうやって逃げるのでしょうか？」

18 さて、パウロがその経験を受け入れる前に、私たちは調べに行きます…今、私たちは掘削しています。さて、あなたがどんな経験をしたとしても、教会、私はあなたに何かを聞きたいです。どんなに見栄えが良く、どれほどリアルに見えても、まず聖書によってテストされなければなりません。常に御言葉で！どんな種類の経験のためにも、決してそれを離れないでください。

そしてパウロはそれを受け入れる前にアラビアに行き、そこで3年間滞在し、みことばでこの経験を試しました。そして彼が戻ってきたとき、彼は確信していました。彼はみことばにしっかりしていて動かさなかったため、何も彼を動揺させることはできませんでした。そして、ここで彼はこれらのヘブライ人に見せるために今向きを変えています。旧約聖書について語られたそれらの素晴らしいことは、イエス・キリストに現れました。なんて栄光でしょう。

19 さて、先週の日曜日、または先週の水曜日、このネヴィル兄弟は、第5章で、いくつかの非常に高い場所に行きました。それは素晴らしい章だからです。そして、私たちは彼が先週の日曜日の第4章、安息日、安息日を守ることを扱っているのを見つけます。今朝、安息日を守る事が何であるか知っていますか？もしそうなら、「アーメン」と言ってください。[会衆は「アーメン」と言います。一編集]

安息日は、日によってではなく、法律によってではなく、私たちの安息日であるキリストに入ることによって私たちが入る「休息」です。彼は私たちの安息日です。私たちはそれをすべて旧約聖書に通し、みことばが「教訓に教訓、教訓に教訓、規則に規則、規則に規則、ここにも少し、そこにも少しとなる。これは彼らが行って、うしろに倒れ、破られ、わなにかけられ、捕えられるためである。」来る時が来ることを示しました。そして、彼は私たちがペンテコステの日に彼の休息に入ったことを証明しました、「これは疲れた人を休ませ、やめるからです。」

20 「神はダビデで1日を7日目くらいに制限されていた」ことがわかりました。そして、「神は7日にを休まれました。」荒野にいるイスラエルの子供たちにそれを渡してください。「そして再び、彼は一日を制限しまし

た。」何日でしたか?週の特定的の日?「あなたが彼の声を聞く日、あなたの心をかたくなにしないでください。」それはあなたに永遠の平和、永遠の安息日を与えるために彼が入る日です。

あなたは日曜日に教会に行って敬虔になることはありません。あなたが神の御霊から生まれたとき、あなたは永遠に休息に入り、もはや安息日を守ることはありません。あなたは永遠に、継続的に、永遠に安息日にいます。「あなたの世俗的な業は終わりました」と聖書は言います、「そしてあなたはこの祝福された平和に入りました。」

21 これらの最初の5つの章は、イエスを大祭司として位置づけています。「神は、むかしは、預言者たちにより、いろいろな時に、いろいろな方法で、先祖たちに語られたが、終わりの時には彼の御子、イエスを通して」(ヘブライ人への手紙第1章、第1節)。

そして、第5章の終わりまで、彼は「日々の始まりも人生の終わりもありませんでしたが、永遠に司祭であり続けるメルキセデク」として表されていました。考えてみてください。この偉大な人は誰でしたか?それについては、あと2つの章で説明します。彼の生涯に関して、私たちは勉強するつもりです。「アブラハムに会ったこの偉大な男には、パパもママもいませんでした。彼には人生を始める時はありませんでしたし、人生を終わらせる時ありませんでした。そして、彼は王の虐殺から来るアブラハムに会いました。」

この偉大な人、彼が誰であったとしても、まだ生きていることに注目してください。彼には人生の終わりはありませんでした。それはキリストでした、彼は会いました。数日後に、その詳細な調査を行う予定です。

22 さて、ここで第5章から始めたいと思います。ここでは、第6章に入る前の少し背景を説明します。これは、本当に素晴らしいものだからです。よく見てください。この章の7節から始めます。さて、6節から始めましょう。

また、ほかの箇所でこう言われている、「あなたこそは、永遠に、メルキセデクに等しい祭司である」。

キリストは、その肉の生活の時には、激しい叫びと涙とをもって、ご自分を死から救う力のあるかたに、祈と願いとをささげ、そして、その深い信仰のゆえに聞きいれたのである

彼は御子であられたにもかかわらず、さまざまの苦しみによって従順を学び、

さて、ここが私が行きたいところです、この9節です。聞いてください。水曜日、ネビル兄弟がそれに当たったと思います。私はここにいませんでした。まあ、聞いてください。

そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり、神によって、メルキセデクに等しい大祭司と、となえられたのである。

このことについては、言いたいことがたくさんあるが、あなたがたの耳が鈍くなっているの
で、それを説き明かすことはむずかしい。…

数晩でメルキセデクについて話す予定にしているので、そのままにしておきます。

23 それでは、普通の学びに関することであるこれから始めましょう。私は…この残りの部分、11節を少し読みます。

このことについては、言いたいことがたくさんあるが、あなたがたの耳が鈍くなっているの
で、それを説き明かすことはむずかしい。

あなたがたは、久しい以前からすでに教師となっているはずなのに、もう一度神の言の初歩を、人から手ほどきしてもらわねばならない始末である。あなたがたは堅い食物ではなく、乳を必要としている。

すべて乳を飲んでいる者は、幼な子なのだから、義の言葉を味わうことができない。

ああ、私は聖霊が今あなたの真下に連れて行かれることを願っています。

すべて乳を飲んでいる者は、幼な子なのだから、義の言葉を味わうことができない。

あなたは赤ちゃんに強い肉を与え、それを殺します。それが、多くの人が「ああ、私はそれを信じていません」と言って立ち去る理由です。まだ幼子たち!彼らはただ理解できません。彼らはその真理を理解することはできません。それ—それは彼らを殺します。教会が今日知っておくべき素晴らしい、力強いことですが、あなたはそれを教えることができませんでした。彼ら—彼ら—彼ら—彼ら—彼らはそれにつまずきます。彼らはそれをどうしたらいいのか分かりません。

24 パウロ、このヘブライ人のグループと話している…それでも、彼が今話している学者、学者、よく学んだ。しばらくすると、非常に学術的になることがわかります。しかし、深い霊的な奥義、教会はまだそれを知らされていません。彼は言いました、「あなたが他の人に教えるべきであるとき、あなたはまだ幼子なのです。」

ああ、たくさんの方が立ち上がって出て行ってこう言うのを知っています。「ああ、もう教会に行く必要はありません。神を賛美しなさい、聖霊が来ました、彼は教師です。」あなたがその考えを得るとき、あなたはただ間違っています。聖霊が教師になるのに、なぜ聖霊が教師を教会に置いたのでしょうか?わかりますか?最初の使徒、預言者、教師、伝道者、牧師がいます。聖霊は教会に教師を置いたので、彼はその教師を通して教えることができました。そして、もしそれがみことばに従わなければ、神がそれを確認しないなら、それは正しい種類の教えではありません。それは聖書全体と比較し、当時と同じように今日も生きていなければなりません。本物が明らかにされています。

25 今気づいてください。

しかし、堅い食物は、善悪を見わける感覚を実際に働かせて訓練された成人のとるべきものである。

識別によって、何が正しく何が間違っているかを知ることができます。

さて、レッスンから始めましょう。この素晴らしい背景を今、1節に行きましょう。

そういうわけだから、わたしたちは、キリストの教の初歩をあとにして、

彼は何を言っているのですか?これらの最初の5つの章はすべて、キリストが誰であることを示すためにキリストに置かれています。今、私たちはキリストの教義のそれらの原則を残しています。

26 私たちは彼が何であることを見出していますか?私たちは彼が肉体で明らかにされた偉大なるエホバの神であることを発見しました。私たちは彼が預言者ではなく、神格が肉体的に完全であることを発見しました。彼はエホバが肉体を持って現れたものでした。そして、体、イエスは、彼を幕屋にただけでした。神が人の中に住んでいます。神は彼自身の息子の処女の誕生によって、人を通して人と和解されています。そして、御霊であるエホバは彼の中に住んでいました。

さて、何人の人が神格についての教えを覚えていますか、私たちがどのように戻って、すべての異なる霊を持つ大きな虹のように神を見つけたのですか、それはどうでしたか?そして、ロゴス(言葉)が神から出て行き、それが神頭体になり、それは人間の形でした。そしてモーセはそれが岩の裂け目で通り過ぎるのを見ました。そして、その神頭体は完全に人間の肉体にされました、キリスト。

そして、私たちが彼の恵みを通して、永遠の命を持っていることをどのように知るのでしょうか。さて、永遠という言葉は「距離のために。しばらくの間。」それは聖書の中で「永遠にそして永遠に」結合を言いました。しかし、永遠は「時」を意味するだけです。しかし、永遠とは永遠を意味します。そして、始まりのあるものすべてに終わりがありますが、始まりのないものには終わりがありません。ですから、神には始まりも終わりもありません。

27 ですから、大祭司メルキセデクは人間のように始まりも終わりもありません。そして、私たちがその神頭体を通して、天地が創られる前に神のかたちに造られたとき。その神頭体が肉体化されて私たちの間に住まわれたとき、彼の死を通して、私たち自身が彼の霊を受け、終わりはありません。永遠の命; 天使ではなく、男性と女性。ああ、私は…どういうわけか、もし私が私の聴衆がそれを捕まえるような方法でしかそれを手に入れることができなかつたら!あなたは決して天使になることはありません。神は天使を造られましたが、神は人を造られました。そして、神がすることは神から離れていることであり、それは神と同じくらい永遠です。そして、人は永遠から作られたので、創造主と同じように永遠です。

28 しかし、罪には終わりがあり、苦しみには終わりがあります。したがって、永遠の地獄はあり得ません。地獄、火、硫黄があります。私たちはそれを知っていますが、永遠の地獄はありません。永遠の命の種類は1つ

だけで、それは神のものです。あなたが永遠に苦しむことになっているなら、あなたは永遠の命を得ます。地獄には終わりがあり、数十億年かかるかもしれませんが、ついに終わりを迎えます。

聖書はどこでも、彼らが永遠に苦しんでいるとは言っておらず、「永遠にそして永遠に」と言っています。ヨナも「永遠に」クジラの腹にいますと思っていました。永遠に距離や時間制限があります。しかし、永遠は永遠であり、始まりも終わりもありません。それはリング、円のようなものです。そして、私たちの時間が進むにつれて、私たちは神の偉大な動機を中心に回っているだけです。

29 神の動機は、人を神のかたちに、神との交わりを作ることでした。そして彼は彼を具体的な存在にしました。さて、罪は私たちを墮落の場所に連れて行きましたが、それが神の計画を止めることは決してありません。そして、罪人の友よ、今日、あなたが神の御霊から新たに生まれなければ、どこかに終わりがあります。そして、あなたの終わりは混乱、破滅、そして苦しみと悲惨です。しかし、主イエスを信じ、あなたの個人的な救い主と同じことを受け入れたあなたにとって、それは神が永遠であるのと同じように永遠です。あなたには終わりがありません。「私は彼らに神のいのちである永遠のゾーイを与えます。彼らは滅びることも裁きを受けることもありませんが、死からいのちへと移りました。」それが彼でした。それが彼の目的です。

30 さて、イエスは彼の来るべき時、彼の神権のために、ただ同情のために来られたのではありません。多くの人がそのように教えて、「まあ、もし私が苦しんでいるなら、私は哀れな光景になり、人々はきっと私に来るでしょう」と言って来ます。それは間違いなのです。そのための聖句はありません。

なぜなら、これまで救われるすべての人は、天地が創られる前に神が彼らを知っていたからです。聖書がそう言っています。神は今、誰もが滅びることを望んでいません。彼は彼ら全員が悔い改めに来ることを望んでいます。しかし、神であること、予知によって彼はそれを知っていました。

ローマ人への手紙第8章を見てください。パウロはそこで、神の選出について、「エサウとヤコブ、どちらかの赤ちゃんが生まれる前、または何かの前に、神は彼らを知っていて、エサウを憎み、ヤコブを愛したと言った」と言いました。彼は神だったので、彼らに感謝の気持ちを表す機会がありました。彼は知っている…彼は無限です。もし彼が無限であるなら、彼はすべてのノミ、すべてのハエ、すべてのブナ、これまで地球上にあったすべてのものを知っていました、彼はそれを知っていました。彼は無限で、永遠で、不滅で、祝福された神であり、全能で、全知全能で、遍在の方なのです。彼が知らないことは何もありません。それが彼が終わりがあるかと言うことができる理由です。彼は最初から終わりを知っていました。

31 予言的であるのは彼の知識だけです。彼は主任弁護士です。彼一彼は一彼は裁判官です。そして彼はただ弁護士に彼の知恵のいくつかを話します。そして、それが予言であり、それを予言することができます。なぜなら、彼は何が起こるかを知っているからです。今、私たちが仕える神がいます。歴史の神ではなく、仏教徒やモハメッド人などのようでもありません。しかし、今ここに、今朝、この幕屋に今、遍在している神。罪深い肉の形をとるために謙遜に身を成し遂げた偉大なるエホバ、私です。ここに彼はいます。それがあなたを贖った人です。他に、どこにも、いつでもそれを行うことはできません。

神はそこに3人もいなかったもので、そのうちの1人である御子を送りました。それは神ご自身が御子の形で来られたのです。御子には始まりがあり、息子には始まりがありました。それは、親愛なるカトリックの人々の何人か、私はあなたの本「私たちの信仰の事実」に「神の永遠の子孫」と書かれているものを手に入れました。その言葉をどのように表現しますか？どのようにそれを意味のあるものにするつもりですか？どのようにそれは永遠になることができますか？それは聖書ではありません。それがあなたの本「永遠の子孫」です。彼らは…その言葉は正しくありません。なぜなら、息子であるものには始まりがあり、永遠には始まりがないので、それは永遠の息子であることではありません。キリストは肉体となり、私たちの間に宿られました。彼には始まりがありました。永遠の子孫ではありませんでした。それは永遠の神格であり、息子であることではありません。さて、彼は私たちを贖うために来られました、そして彼は私たちを贖われました。

32 さて、パウロ、そこに着きました。過去のレッスンを通して、あなたはそれを理解したと確信しています。いつか、御心ならば、ただ一節ずつそれをもう一度見ていきます。さて。

そういうわけだから、わたしたちは、キリストの教の初歩をあとにして、完成を目指して進むうではないか。今さら、死んだ行いの悔改めと神への信仰、…

それは彼らをつまづかせます。違いますか？何をしましょう？

そういうわけだから、わたしたちは、キリストの教の初歩をあとにして、完成を目指して進む

うではないか。今さら、死んだ行いの悔改めと神への信仰、

33 これを見てください。この「完璧」という言葉を理解しましょう。神の御前に立つ唯一の方法があることを知っていますか？それは完璧です。神は不聖なことを容認することはできません。

そして、あなたがた律法主義者達は、自分を完璧にするものが1つもないのに、どうすれば自分を完璧にできるでしょうか。あなたは罪の中で生まれました。あなたの概念そのものが罪の中にありました。あなたがここにいるというまさにその願いは罪でした。「罪の中で生まれ、不義の内に形づくられ、嘘をついて世界にやって来ます。」さて、あなたはどこに立つつもりですか？

罪人であるあなたが、「私は喫煙をやめます。天国に行きますか？」生ぬるい、苔むした、いわゆるクリスチャンで、長い顔をしてこの辺りを回り、「まあ、私は教会に所属している」と言っているあなたはどこにいますか？あなたは罪人です。そうです。あなたが神の御霊から生まれられない限り、あなたは失われています。それは本当です。

34 どのように天国に行きますか？あなたは「私は自分の人生で嘘をついたことはありません」と言います。「ああ、最愛の人。そもそも、それはただの天使でした。」それはうそです。私はあなたがどれほど上手かは気にしません。あなたは罪人です。そして、あなたには一つのことはありません。司祭も司教も枢機卿も教皇も、他に何もあなたを救うことはできません。なぜなら彼はあなたと同じ船にいるからです。数分で始めます。ちょうど同じ形で。彼は…ローマの教皇は罪の中で生まれ、不法の形をとり、嘘をついて世界にやって来て、男性と女性の性的欲求によって生まれました。あなたはそれからどこで義人を得るつもりですか？

「まあ、彼のパパとママは同じように生まれました、そして彼らは同じ方法で生まれました、そして彼のおばあちゃんとおじいちゃんと背中に。」そもそも罪です！

35 では、これが聖なるものであり、それが聖なるものであると誰が言えるでしょうか？聖なるものは一つだけです。それは、完全にされた生ける神の御子イエス・キリストです。そして私たちの要件は完璧であることです。さて、どうなるのでしょうか？自分で試してみてください。「私は5分前に生まれ、今は世を出ている」というメリットで天国に行こうとするのは嫌です。私は失われる事でしょう。人生で邪悪な考えを持ったことがない場合、人生で悪い言葉を話したことがない場合、悪を見たり、悪を考えたり、何も考えたりしなかった場合、私は汚い壁と同じくらい真っ黒です地獄の。私は罪人です。

私は人生を歩み、部屋に閉じ込められたままで、カルメル会の姉妹などのように、世界を見ることは決してなく、そこにとどまり、私の人生のすべてを祈り、善を行い、大富豪として生まれ、貧しい人々にすべてを与えることができました私は手に入れました、そして私はまだ罪人であり、地獄に行きます。はい。

36 私がゆりかごに乗っているとき、私はルター派教会、バプテスト派、ペンテコステ派、長老派教会に参加し、100年までその教会に忠実に生きるかもしれませんが、そして私の命は奪われ、誰も私に指を向けて言うことができませんでした「彼はこれまでに悪い考えを持っていたのです」私は立っているのと同じくらい確実に地獄に行きます。

私は罪人です。その通りです。私には何もありません。支払うべき代償を見つける方法はまったくありません。神は死を要求されました。そして、私が自分の命を与えるなら、私が自分の命を与えるなら、どうすれば悔い改めることができますか？というのは、あなたは…最初に借金を支払わなければなりません。そして、神は彼の命を置き、再びそれを取り上げることができた唯一の人でした。それで、彼は罪になり、彼の命を置き、それを拾い上げ、それを「正義」と呼ぶことができ、そして借金が支払われます。そういう事なのです。

37 さて、マタイに話を移しましょう。第8章についてですが、第7章か第8章だと思います。イエス様の言われたことをここで見ていきます。大丈夫です。マタイによる福音書、第5章です。そして…イエス様、説教し、畏怖の念をもって説教します、47節。

兄弟だけにあいさつをしたからとて、なんのすぐれた事をしているだろうか。そのようなことは異邦人でもしているではないか？（見てください）

しかし、あなたがたは完璧になりなさい、…(何?)

それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

それがイエスの戒めでした、「あなたがたはそうなりなさい」。

彼らは言います、「誰も完璧になることはできません、聖書は『完璧なものはない』と言っています。あなたの矛盾があります。」そうですか？大丈夫です。

あなたは自分自身で完璧になることはできません。自分のしたことに信頼しているなら、あなたは失われています。「それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。」さて：

それだから、あなたがたの天の父が完全であられるように、あなたがたも完全な者となりなさい。

「したがって…」さて、ヘブライ人への手紙第5章、第6章。

そういうわけだから、わたしたちは、キリストの教の初歩をあとにして、完成を旨として進もうではないか。今さら、死んだ行いの悔改めと神への信仰、…

38 さて、あなた、ブラナムタバナクル(幕屋)。ああ、私は知っています、「私たちは癒しを持っています。」それは素晴らしいことです。「私たちには幻があります。」ああ、それは結構です。そして、あなたには霊的な夢があります、そして時々それらは霊的な夢ではありません。そして—そして時々あなたは…「私たちは貧しい人々を助けようとしています。私たちはできることをします。」ああ、それは大丈夫ですが、それは私たちが今話していることではありません。私たちは別の段階に入っています。

…去る…教義…

「ああ、そうです、私たちはキリストの教義を得ました。私たちは彼が神の子であり、処女から生まれたと信じています。私たちは、これらすべてのことでそれを信じています。」それはただ素晴らしいことです。

39 しかし、「それを残して、完璧に進みましょう。」ああ、素晴らしい！あなたがそれを見ることができるところにこれを持って来るために、私が今大天使の声を持っていたらいいのにとおもいます。さて、彼は「キリストのすべての教義を残して」、すべての神学者、そして私たちが知っているすべての神学、すべてのキリストの神、彼がどのように神であったかについて、これらすべての他のことを言います。

パウロはここで、ほんの数分ですべてを説明し続けます。始める前に、少しだけ読んでみましょう。

今さら、死んだ行いの悔改めと神への信仰、

今、私たちはそれを信じています。

…そして神への信仰、

私たちはそれを信じています。

そして、バプテスマの教義について、…

どのようにバプテスマを受けなければならないか、私たちはそれを信じています。

…そして手を置くことの…

私たちは手を置くことを信じています。しませんか？ほら、確かに。

…そして死者の復活について…

40 私たちはそれを信じています。今見てください。ここでは、「判断」、「永遠」が使用されています。それは永遠です。裁きが神について語られるとき、それは永遠です。そうになると、裁きが過ぎた後、和解はあり得なくなります。これで、神が自分自身、つまり私たちがそれを彼自身の薬と呼ぶように、彼自身のものを服用しなければならなかった理由を理解することができます。彼が人を罪を犯したと非難したとき、彼が和解することができる唯一の方法は、人の代わりに自分自身にすることでした。それが彼が和解できる、または私たちが和解させることができる唯一の方法は、私たちの代わりになって罪人になることでした。神、エホバは罪人になり、命を与えられました。

今、あなたは罪人として、大義のために死ぬためにあなたの命を与えることができます。パウロは、「自分の体を焼かれるために渡しても、なんでもないと」言いました。というのはそれはうまくいかないからです。ほら、あなたが死ぬとき、あなたははなくなっています。あなたは罪人として死に、失われます。

「しかし、神は肉体で降りてきて、肉体の罪を罪となり、罪深い肉体にされました。」なぜなら、彼は永遠の神であり、彼自身の体を蘇らせたので、彼は義者だからです。

41 さて、これらすべてのこと、「完璧に進みましょう」とパウロは言いました。さて何？

…永遠の裁きの。

…これを行います、…神が許します。(3節)

さて、「完璧に進みなさい」。イエスは言われました、「天におられるあなたの父が完全であるように、あなたがたも完全になりなさい」。

そして、私たちは皆、罪に定められています。私たちが今まで何をしても、私たちは罪に定められているのです。私たちは生まれ、罪に定められていました。あなたのママとパパは生まれ、罪に定められていました。あなたの、あなたのすべての先祖は罪の中で生まれ、不義の内に形づくられました。では、どうやってそれを手に入れるのですか？どのようにして完璧になりますか？人生で何かをしたことも、盗んだことも、嘘をついたことも、何もしなかったとしても、それでも罪に定められていました。あなたは最初の息をする前に罪に定められていました。あなたは罪に定められていました。その通りです。そして、あなたは最初の息をする前に神について裁かれました。あなたがたは、その行為によってあなたを地上に連れてきたあなたの父と母の性的欲求によって裁かれたからである。そして初めに、神はそれを罪に定められていました。そもそもあなたは罪に定められていました。だからどこに…そして、地球上の他のすべての人はあなたと共に罪に定められていました。さて、どこで完璧を手に入れますか？

42 見てください。ちょっと、ヘブライ人への手紙10章を開きましょう。よく聞いてください。第9章、まずは11節から少し読みたいと思います。

しかしキリストがすでに現れた祝福の大祭司としてこられたとき、手で造られず、この世界に属さない、さらに大きく、完全な幕屋をとおり…

ほら、古い幕屋…気づきましたか？古い幕屋には、神が住んでいた箱舟を隠すベールがありました。何人がそれを知っていますか？確かに。さて、ここの古い人工の幕屋、染められた山羊皮のカーテンなどは、神の臨在を隠すために幕屋にされました。年に一度だけそこに入ることができる人が一人だけいることを知っている人はどれくらいいますか？[会衆は「アーメン」と言います。—編集]確かに。それはアロンでした、年に一度入ってください。そして彼は油そそがれているに違いありません。そして—そして、ああ、要件！そして彼は手に火を持っているに違いありません。それなしで行った場合、彼はそのベールを戻すとすぐに死にました。彼は死んでしまうでしょう。彼はそこに行ってこれらのろうそく立てに火をつけ、キリストがそれを成就するために来るまで、代用者が持っている死の血を呼びかけた慈悲の席をまき散らさなければなりません。

43 さて、しかし、その後、神は別のタイプの幕屋になりました。そして、その幕屋は誰でしたか？イエス様。そして神はイエスの中にいて、隠されていましたが、彼の表われによって世界をご自身と和解させていました。キリストは神を明らかにしました。彼は言いました、「その業をするのはわたしではない。私の内に住むのは私の父です。私は自分の中で何もませんが、父がしているのを見るだけです。私の中の父は、これらの幻を私に示し、それから私は父が私にするように言われたとおりに行きます。」分かりますか？神は染められた山羊の皮の後ろではなく、人の体の中にいましたが、生きていて、動いていました。神は手を持っていました。神には足がありました。神は舌を持っていました。神には目がありました。そしてそれはキリストでした。彼はそこにいました。

さて、彼は去りました、そして、彼の死を通して彼が教会を完成させ、教会を従順にさせるために、御霊がその中に来ました。そして、キリストにあったのと同じ霊が教会にあり、キリストがしたのと同じことをしています。「しばらくすると、世界は私を見ることができなくなります。それでも、あなたがたはわたしを見るであろう。わたしはあなたと一緒に、あなたの中にさえ、世の終わりまでいるからである。」

44 今これを聞いてください。

しかしキリストがすでに現れた祝福の大祭司としてこられたとき、手で造られず、この世

界に属さない、さらに大きく、完全な幕屋をとおり

彼は手でつくられてはいなかったのです。彼はどのようにして生まれましたか？処女懐妊による誕生。

かつ、やぎと子牛との血によらず、ご自身の血によって、一度だけ聖所にはいられ、それによって永遠のあがないを全うされたのである。…

あなたは血が男性の性から来ていることを知っています。そして、誰かが「ああ、イエスはユダヤ人だった」と言いました。彼はユダヤ人ではありませんでした。「ああ、私たちはユダヤ人の血によって救われました。」いいえ、違います。私たちがユダヤ人の血によって救われたとしたならば、私たちはまだ失われています。

イエスはユダヤ人ではなく、異邦人でもありませんでした。彼は神でした：父なる神、御霊、見えない方。「誰も神を見たことはありませんが、父の独り子が神を宣言しました。」彼は神、神が何であるかを明らかにしました。

45 今、彼の教会は神が何であるかを示すために、神を現すことになっています。分かりますか？

私たちは何をしますか？自分たちを組織し、「私は彼らとは何の関係もありません。彼らはメソジストです。彼らは長老派です。私は彼らとは何の関係も持ちたくないのです。私はバプテストです。私はペンテコステです。」えっ！あなたは失われています、彼らはある種の動機を持っています。そうです。

誰が自慢できますか？誰が何でも言うことができますか？長老派がもたらした恥辱を見てください。バプテスト派の恥辱を見てください。カトリックの恥辱を見てください。ペンテコステ派、ナザレ派、ビリグラムホーリネスの恥辱を見てください。それらの残りを見てください。

しかし、私はあなたにその恥辱に、それを片手に向けるように挑戦します。ええ。全能の神がこう言われたとき、一本の指を指さしてください。「これは私が喜んでいる宿っている私の愛する息子です。汝、彼に聞け。」彼はそこにいます。それは完璧な方なのです。

46 さて、ここでもう少し読みましょう。

山羊の血…子牛ではなく、彼自身の血によって、彼は永遠の贖いを得て、一度聖所に入りました…(あなたはそれを手に入れましたか?)…私たちのために永遠の贖い。

今日は贖われなくて、そしてリバイバルが始まる来週、再び贖われ、そしてああ、私たちはバックスライドして再び贖われるのです。あなたは一度贖われたら永遠なのです。そうです。もはや何度も贖われる必要はありません。「永遠の贖い!」「わたしの言葉を聞き、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、決して裁きを受けることはない。」過去形で、「死からいのちへと移った」。彼が揺れたので？彼は特定の方法でバプテスマを受けたので？彼は手に血を持っていたので？「彼は独り子である神を信じていたからです。」それが私たちが永遠の贖いを持つ方法です。

47 今聞いてください。

なぜなら…雄牛と山羊の血、そして未經産牛の灰が、肉を浄化するために汚れた聖域をまき散らしたからです。

永遠の聖霊によって、ご自身を傷なき者として神にささげられたキリストの血は、なおさら、わたしたちの良心をきよめて死んだわぎを取り除き、生ける神に仕える者としなないであろうか？

「死から生へと移されました。」あなたは世界が何を考えているかを気にしますか？あなたはあなたの隣人がどう思うか気にしますか？私たちの意識は死に、私たちは真の生ける神に仕えるために、神の御霊によって再生され、新たに生まれました。そういう事なのです。

48 さて、ページを横切って、むしろ10節、10章に立ち寄ってください。

いったい、律法はきたるべき良いことの影をやどすにすぎず、そのものの真のかたちをそなえているものではないから、年ごとに引きつづきささげられる同じようないけにえによっても、みまえに近づいて来る者たちを、全うすることはできないのである。

P-e-r-f-e-c-t、それはそこにあります、「完璧」。

そういうわけだから、わたしたちは、キリストの教の初歩をあとにして、完成を目ざして進むのではないか。

ですから、天国にいるあなたの父が完全であるように、あなたがたも完全になりなさい。

「来るべき良いものの影を持っている法律」、すべての儀式とバプテスマ、そして…彼らが持っていた他のすべてのものは、「崇拜者を完璧にすることは決してできませんでした」。そして、それでも、神は「完璧」を要求されます。

あなたはナザレ派の教会に加わることで、決してあなたを完璧にすることはありません。あなたはペンテコステ派、バプテスト教会に参加します。それが何であれ、それがあなたを完璧にすることは決してありません。あなたが善良で忠実な人であることは、決してあなたを完璧にすることはありません。1つのことに値することはできません。あなたには何のメリットもありません。あなたは失われています。あなたは言います、「まあ、私は律法を守りました。私は安息日を守ります。私はこれ、神のすべての儀式を守ります。私はこれを行います。」

パウロは、「今、それらすべてを脇に置いておきましょう」と言いました。

「それは大丈夫ですが、これを行います。私たちは人々にバプテスマを施し、彼らの癒しなどのために手を置きます。」

49 私たちはそれを、節ごとに、それらのそれぞれのものを取りことができました。バプテスマ、私たちはそれを信じています。「一つの希望、一つの主、一つの信仰、一つのバプテスマがあります。」バプテスマがあると信じています。私たちは死者の復活を信じています。絶対に。私たちはイエスが死んで再びよみがえられたと信じています。私たちはそれを信じています。「病人のために、手を置いて」それはそれが言ったことです。「これらのしるしは信じる者に従うものとする。彼らが病人に手を置いた場合、彼らは回復するでしょう。」私たちはそれを信じています。

しかし、それは何ですか？パウロは「それはすべて死んだ業だ」と言いました。それはあなたがすることです。

「それでは、完璧に進みましょう。」ああ、何と！私たちは基礎ではなく、幕屋に入ります。タバナクル、タバナクル自体。それが基礎なのです。律法と正義、そして教会に加わり、バプテスマを受け、そして手を置くことです。それらはすべて教会の秩序なのです。

「しかし、今度は完璧に行きましょう。」そして、完成されたのはイエスだけです。

どうやって彼に入るのですか？「メソジストを通して？」いいえ。「ペンテコステ？」いいえ。「バプテスト？」いいえ。「どこかの教会を通して？」いいえ。「ローマカトリック？」いいえ。

50 どうやってそれに入るのですか？ローマ人への手紙第8章1節。

こういうわけで、今やキリスト・イエスにある者は罪に定められることがない。なぜなら、キリスト・イエスにあるいのちの御霊の法則は、罪と死との法則からあなたを解放したからである。

あなたが病気であつたら、医者「あなたは死ぬだろう」と言います、あなたはそれに注意を払わなうひつようはないのです、少しも気にしないでください。

彼らがあなたに「あなたが救われる前にカトリックになるか、長老派になるか、あるいはこれをしなければならぬ」と言った場合、あなたはそれに注意を払う必要はないのです。

「それゆえ、キリスト・イエスにあつて、肉を追いかけない者たち、彼らが見るものを非難することはありません。」あなたがあなたの目で見るとは地上のものです。

しかし、それはあなたが御言葉を通してあなたの霊の中に見るものです！みことばは、神が何であるか、あなたが何であるかを反映する神の鏡です。ハレルヤ！ああ、何とも！それがあなたに告げるのです。これは、あなたがどこから来たのか、あなたが誰であるのか、そしてあなたがどこに行くのかを教えてくれる世界で唯

一の本です。文学のどのページでも、どこでも、すべての科学やその他のもの、書かれたすべての優れた本を見せてください。どれもそれを告げることは出来ないのです。これは神の鏡であり、神が何であり、あなたが何であるかを示しています。次に、その間に血統があり、それはあなたが選択をしたい場合にあなたが何ができるかを示しています。そういう事なのです。

51 「一つの霊によって」、さて、第一コリント人への手紙12。どのように私たちはその体に入るのですか？

「握手して?」いいえ。「教会に参加することによって?」いいえ。「後ろ向き、前向きにバプテスマを受けることによって?父、子、聖霊の名において?イエス・キリストの名前?シャロンのバラ、谷のユリ、明けの明星の名前?何でもあなたの好きなように?」

それはそれとは何の関係もありません。「神に対する良心の答えにすぎません。」それでも、私たちは大騒ぎし、思い悩み、議論し、分裂し、違いを生み出します。そうなのです。「しかし、それらはすべて死んだ業なのです。」私たちは完璧になります。

それが私がしたことです。ある聖職者(ミニスター)があなたにバプテスマを授けました。彼があなたに前向き、後ろ向き、または3回、4回、または1回バプテスマを施したかどうか、または彼がそれをどのように行ったかは、それとは何の関係もありません。とにかく、あなたはその教会の交わりでバプテスマを受け、その教会に証明しています。あなたはキリストの死、埋葬、そして復活を信じています。手を置いて、病人を癒すのは素晴らしいことですが、それはすべて自然なことであり、その体はあなたが生きているのと同じように確実に再び死ぬでしょう。また死ぬでしょう。「それでは、これらすべてを脇に置いて、完璧に進みましょう。」

52 どうすれば完璧になりますか?それが私たちが知りたいことです。

…キリストは完成されました…

「神は私たちすべての不義を彼(キリストイエス)の上に置かれました。しかし彼は我々の咎のために傷つけられ、我々の不義のために砕かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、我々に平安を与え、その打たれた傷によって、我々は癒されたのだ。」それが私たちが到達したい体です。それが体です。なぜですか?あなたがその体の中にいるなら、あなたは裁きを見ることは決してなく、死を味わうことも決してないでしょう。あなたがその体にいるとき、あなたは死、裁き、罪、そして他のすべてから解放されます。

「説教者、どうやってそれに入るのですか?この幕屋に加わることによって?」あなたはまだ迷っています。とにかく参加できませんでした。本はありません。「どうやってそれに入るのですか?いくつかの教会に参加することによって?」いいえ。「どうやってそれに入るの?」あなたはそこで生まれるのです。

コリント人への第1の手紙12章。

なぜなら、わたしたちは皆、ユダヤ人もギリシヤ人も、奴隷も自由人も、一つの御霊によって、一つのからだとなるようにバプテスマを受け、そして皆一つの御霊を飲んだからである。…

53 聖霊のバプテスマによって、私たちはその体にバプテスマを受け、罪から解放されます。神はもうあなたを見ていないのです。彼はキリストを見ているだけです。そして、あなたがその体にいるとき、神はその体を判断することはできません。彼はすでにそれを判断しています。彼が私たちの判断を下し、私たちを招待してくれました。そして信仰によって、恵みを通して、私たちは歩き、許しを受け入れます。そして、聖霊は私たちを彼とのこの交わりに連れて行ってくれます。「そして、私たちは世の事柄を追い求めることはもうありませんが、私たちは御霊の中を歩きます。」

命を下さるために、みことばが私たちのところに来ました。彼は私の代わりに死んでくださったのでした。私は生かされています。ここに、かつて罪と不法侵入で死んでいた私が生き返りました。私の望みはすべて彼に仕えることです。私のすべての愛は彼にあります。私のすべての歩みは彼の御名の内になりたいのです。私がかどこへ行っても、何をしても、私は彼を賛美します。もし私が狩りをしていても、釣りをしていても、ボールをプレーしているなら、もし私が…何をしても、私はそのような人生において「私の中のキリスト」でなければなりません。男性達はそのようになることを切望しています。あなたの教会について、いじくり回したり、裏切りをしたり、騒いだりしないでください。わかりますか?[会衆は「アーメン」と言います。一編集]

「一つの霊によって、私たちはその体にバプテスマを受けます。」「そして、私が血を見ると、私はあなたを通り過ぎます。」

54 聞いてください。ここでもう少し読みましょう。

…角を完璧にすることは決してできないもの。

「…のために」第2節、第10章。

もしできたとすれば、儀式にたずさわる者たちは、一度きよめられた以上、もはや罪の自覚がなくなるのであるから、ささげ物をするのがやんだはずではあるまいか。

それがその人を完璧にすることができたら…そして神は完全さを要求されます。律法を守り、すべての戒めを行うことがあなたを完璧にするなら、それはありません。他に何かを持つ必要はありません。あなたはすでに完璧にされています。なぜなら、あなたが完璧であるとき、あなたは永遠です。なぜなら、神が唯一の永遠であり、神が唯一の完璧な方なのです。そして、あなたが永遠になることができる唯一の方法は、神の一部になることです。[テープ上の空白のスポット—編集]

もしできたとすれば、儀式にたずさわる者たちは、一度きよめられた以上、もはや罪の自覚がなくなるのであるから、

なに?「崇拝者は、良心がなくなるために一度一掃されました…」その翻訳を書くと、それは「欲望」です。

…もしできたとすれば、儀式にたずさわる者たちは、一度きよめられた以上、もはや罪の自覚がなくなるのであるから、ささげ物をするのがやんだはずではあるまいか。

…もしできたとすれば、儀式にたずさわる者たちは、一度きよめられた以上、もはや罪の自覚がなくなるのであるから、ささげ物をするのがやんだはずではあるまいか。

あなたは今上がってこう言います、「ああ、ハレルヤ、昨夜私は救われました。しかし、まあ、神を祝福してください、彼女は私を背教させました。ハレルヤ、いつの日かまた救われるでしょう。」あなた方かわいそうな訓練を受けていない文盲。そうではありません。

55 「もしできたとすれば、儀式にたずさわる者たちは、一度きよめられた以上、もはや罪の自覚がなくなるのであるから、ささげ物をするのがやんだはずではあるまいか。」と聖書は言いました。読み進めていく中で、ちょっと聞いてください。

しかし実際は、年ごとに、いけにえによって罪の思い出がよみがえって来るのである。

さて、私たちはドロップダウンして、8節についてヒットし、時間を節約し、私が行きたい場所に行きます。

ここで、初めに、「あなたは、いけにえとささげ物と燔祭と罪祭と(すなわち、律法に従ってささげられるもの)を望まれず、好まれもしなかった」とあり、

9節。

次に、「見よ、わたしは御旨を行うためにまいりました」とある。すなわち、彼は、後のものを立てるために、初めのものを廃止されたのである。

それにとどまる時間があればいいのに。あなたが長老派、ペンテコステ派、バプテスト派、メソジスト派である限り、彼はあなたと何もすることができません。彼はそれをすべて取り去らなければなりません、最初に見てください、そうすれば彼は2番目を確立することができます。あなたが言う限り、「まあ、私はメソジストです。」ああ、メソジスト、バプテスト、ペンテコステ派に反対するものは何もない。しかし、兄弟、それはそうではありません—それはそれを綴りません。あなたは完璧に進まなければなりません、それはキリストの中にあります。

56 今これを見てください、ちょっと待ってください。

この御旨に基きただ一度イエス・キリストのからだがささげられたことによって、わたしたちはきよめられたのである。

え?もう少し読んで、それを保持しましょう。「すべてのために一度」を読んでいる間、それを浸透させてください。

こうして、すべての祭司は立って日ごとに儀式を行い、たびたび同じようないけにえをささげるが、それらは決して罪を除き去ることはできない。

しかし、この男は…

準備はいいですか？あなたは今あなたのベストを開いたので、それはかわさないでしょう、それはすぐに心に行きますか？「でもこの男。」何人？ローマの教皇でも、メソジスト教会の司教でも、他の教会でもありません。

しかるに、キリストは多くの罪のために一つの永遠のいけにえをささげた後、神の右に座し、

それから、敵をその足台とするときまで、待っておられる。

見てください。ここに彼女が来ます。

彼がp-e-r-f-e-c-t-e-dを持っているという一つの申し出によって、彼は完成させました…

「次のリバイバルまで」？それは何と言いますか？

…彼は一つのささげ物によって、きよめられた者たちを永遠に全うされたのである。

分かりますか？「完璧に進みましょう。」

57 さて、あなたがたホーリネスの人々が言います、「ああ、ええ、私たちはホーリネスを信じています。ハレルヤ！私たちは聖化を信じています。」しかし、あなたはあなた自身のものを取っています。あなたはこれをやめて、それをやめます。あなたはそれをすべきではないことを知っています。

キリストが扉を開けてあなたの心に命を与え、そしてあなたが罪が死んで欲望のある場所にならない限り、それはすべてなくなっています。それから、彼はあなた自身の自己正義を取り去ります、彼はあなたの中に彼自身を確立するかもしれません。「そして、それはあなたの中の神の子であるキリスト、栄光の希望です。」

…完璧に進みましょう。

どうすれば完璧になれるか？キリストの死を通して。教会に加わることを通してではありません。私たちの良い仕事を通してではなく、私たちがしていること。その全ては大丈夫なのです。私たちがこのようにまたはそのようにバプテスマを受けたからではありません。手を置くことによって私たちが癒されたからではありません。これらの他の理由ではなく、「私たちは死、埋葬、そして復活を信じています。」

58 パウロは、「私は人や天使のように異言で話すことができました」と言いました。それは理解できる異言と理解できない異言の両方であり、「私は何もありません。私は知識の賜物を持っており、神のすべての知恵を理解していますが、聖書を説明することができます。…彼女を結びつけることから、「私は何もありません」。それでは、聖書を学ぶために学校に行くのはあまり良いことではありませんか？「私は山を動かすことができると信じていますが…」癒しのキャンペーンはそれほど意味がありませんね？「私は何でもありません。たといまた、わたしが自分の全財産を人に施しても、また、自分のからだを焼かれるために渡しても、もし愛がなければ、いっさいは無益である。

「ああ」と彼らは言います、「その人は宗教的です。」

「しかし、彼は何もありません」とパウロは言いました。「決して何もなくなることはありません。」

愛はいつまでも絶えることがない。しかし、預言はすたれ、異言はやみ、知識はすたれるであろう。なぜなら、わたしたちの知るところは一部分であり、預言するところも一部分にすぎない。全きものが来る時には、部分的なものはすたれる。」ほら、その「完璧」。完璧とは何ですか？愛。愛とは何ですか？神様。「これらの小さな死んだ業や信条をすべて脇に置いて、完璧に進みましょう。」分かりますか？私たちはキリストを通して完成されます。どうやってそれに入るのですか？聖霊のバプテスマによって。

「大丈夫、何が起こったのですか？」あなたは死から生へと移されました。

「まあ、私は振ったり、ジャンプしたりしますか？」あなた—あなたは何もする必要はありません。あなたは

すでにそれをしました、神はあなたを死から命に連れて来られました、そしてあなたは生きています。それからあなたの人生のあなたの実はそれを示します。

59 多くのメソジスト派とナザレ派は、あなたが叫ぶことができるのと同じくらい激しく叫び、男のパッチからトウモロコシを盗みました、そうです、できる限りのことをしてください。

ペンテコステ派の多くは、牛革にエンドウ豆を注ぐように、異言で話しました。確かに、すぐに出て、次の男の妻と一緒に逃げ出し、あらゆることをしました。それではありません、兄弟。

聖霊に取って代わるようなセンセーションや何かをしようとししないでください。新しい誕生が来る時、あなたは変わります。それを証明するために何もする必要はありません。あなたが歩くとき、あなたの人生はそれを証明します。あなたは愛、喜び、平和、寛容、慈愛、善意、忠実、忍耐です。それがあなた自身であり、全世界があなたの中にイエス・キリストの反映を見えています。

60 さて、異言で話し、そこで叫んで、それはこの種の命に続く属性にすぎません。

そして、あなたはそれらの属性を取り、それらの属性になりすまして、決してその命を持つことはできません。私たちはそれを見えています。それが本当だと知っている人はどれくらいいますか？[会衆は「アーメン」と言います。一編集]確かに、そうです。確かにそうです。何と！あなたはそれをあなたの周りに見ます。

ですから、あなたが生きているのがあなたの人生でない限り、聖霊の証拠であると言えることは何もありません。さて、もしあなたが異言で話したいなら、あなたがそれをバックアップする人生を送っていれば、それは完全に大丈夫です。そうです。そして、あなたが叫びたいなら、大丈夫、それは良いことです。私も叫びます、時々とても幸せになり、靴を履くことがほとんどできなくなります。私は彼らから飛び降りるのが好きです。そして、それは素晴らしいことです。私はそれを信じています。

私は幻を見てきました、そして病人は癒され、死者はよみがえりました。彼らがそこにレイアウトし、医師達は立ち去って「彼らは終わってしまった」と言う、数時間そこに横たわりました。そして聖霊がすぐ下に来て幻を示し、そこに降りてその人を引き上げます。私は、耳が聞こえず、話すことが出来ず、盲目で、不自由な人々が歩くのを見てきました。それは…ではありませんそれは単なる属性です。

61 兄弟、ずっと前に、天地がつくられる前に。神は永遠の恵みを通して見下ろし、予知によってあなたと私を見ました。彼は私たちがどの時代に生きることになるか知っていました。彼は私たちがどうなるかを知っていました。ですから、選びによって、彼は天地がつくられる前に私たちを選ばれました。シミもしわもなく彼と共になるために。

さて、もし彼が天地の創られる前に私たちを斑点のない彼の中のように選んだなら、そして私たちがすべて斑点のあるように生まれ、そして他に何も…私たちを清めることはできません。シミなしで？「彼は彼のひとり子を送りました、彼を信じる者は誰でも人生の終わりを持つべきではなく、永遠の命を持つべきです。決して滅びることはないはずですが、永遠の命を持つべきです。」そして、私たちが彼に来るとき、信仰によって、恵みによって、聖霊が私たちに呼びかけることによって救われます。

62 この地球に体ができる前は、あなたの体はここに横たわっていました。カルシウム、カリウム、湿気、宇宙(宇宙の光)、石油など、16の要素でできています。そして、聖霊は地球上であふれ始めて「叫び」始めます。そして、それがそうであったように、あなたが最初に知っていることは、小さなイースターの花がやってくるのです。それから彼はいくつかの草といくつかの鳥を育てました、そしてしばらくして、人が出てきました。

今、彼は地球の塵から女性を創ることはありませんでした。そもそも彼女はすでに人間です。男と女は一つです。それで彼はアダムの側から肋骨を取り、彼の助けとなる女性を作りました。そして、罪が入ります。そして罪が入った後…

63 何が起ころうとも神は打ち負かされません。彼は決して敗北することはありません。それから、女性は地球に男性を連れてき始めました。そして神は、永遠の恵みを通して、誰が救われるかを見て、あなたを召されました。「私の父が最初に彼を呼ばない限り、誰も私に来ることはできません。」「意志のある者や走る者ではなく、憐れみを示す神。」

あなたは言います、「まあ、私は神を求めました。私は神を求めました。」いいえ、あなたは決して。神はあなたを求めました。それが最初のやり方でした。

アダムが言ったのではありません。「父よ、父よ、私は罪を犯しました。どこにいるの?」

「アダム、アダム、どこにいるのか?」と言ったのは父でした。それが人間の本質です。それが人間の負担です。それが彼の作り方です。

「そして、父が彼を引き寄せない限り、だれもわたしのところに来ることはできない。そして、父が私に与えるすべてのこと…」ハレルヤ!「すべてが来たら、私は彼らに永遠の命を与え、終わりの時に彼を引き上げます。」天の神のなんと祝福された、なんと祝福された約束なのでしょう。私たちが今夜行くところ、「彼は自分で誓った」。これ以上のものはありません。あなたは自分よりも偉大な人から誓いを立てます。それ以上の人はいないので、神はご自身に誓いを立てました。私たちはそれに取り組んでいます、彼がそれをどのように、そしていつ彼がそれをしたか。そして、彼が私たちを育て、私たちを彼自身の遺産にすることを誓いました。

64 ああ、今朝、私たちが立つことができるなんて完璧でしっかりしているのでしょうか!どのように見えるか、死があなたの顔をじっと見つめているなら、あなたはパウロのように言うことができます。「死よ、お前の棘はどこにあるのか?墓よ、お前の勝利はどこにあるのか?しかし、私たちの主イエス・キリストを通して私たちに勝利を与えてくださる神に感謝します。」そういう事なのです。なぜですか?

「ああ、あなたはあれこれをしました。」

「私はそれを知っていますが、私は彼の血に覆われています。」ハレルヤ!

「一つの霊によって、私たちは皆、一つの体にバプテスマを受けました。」あなたはメソジスト派、バプテスマ派、長老派、あなたが何であれ、私たちは一つの体にバプテスマを受けました。私たちは交わりを持っており、私たちは神の国の市民であり、「私たちはこの世のものではない」と公言しています。

先日、私の小さな娘が来て、こう言いました。「パパ、この小さな女の子はあれやこれをしました。そして、彼らはあれこれをしました。私たちはその家に行きました。彼らはあれこれをしました。」私は言った…「どうして我々はそんなことをしないのか?」と言いました。

私は言いました「ハニー、私たちはその世のものではありません。彼らは自分たちだけの世界に住んでいます。」

「私たちは皆同じ地面を歩いていませんか?」と言いました。

私は言いました「世のもの、ハニー私たちは彼らのものではありません。」

65 聖書は、「彼らの間から出て行き、彼らと分離せよ、と神が仰せになられる」と言っています。ほら、あなたはその物ではありません。そして、その新しい自然があなたにやってきたとき、あなたは引き抜かれる必要はありません。ロトの妻のように、あなたは戻りたくないのです。あなたはそれから生まれたばかりです。そして、あなたは別の次元にいます。そして、それはあなたには厄介に見えます。

そして、これ、私たちが住んでいる素晴らしい、素晴らしいアメリカは、その1つの大きな混乱になっています。すべては欲望と女性です。そして、女性は服装、男性は彼らが行動する方法、そして彼らがしていること、そして彼ら自身を「クリスチャン」と呼んでいます。

たとえば、このエルビスプレスリーは、今すぐペンテコステ派教会に行って参加しているのです。もちろん、それは…ユダは30枚の銀を手に入れました。エルビスは、彼の生得権を売ったことで、キャデラックの艦隊と数百万ドルを手に入れました。アーサーゴッドフリー。それを見てください。

66 ルイビルにいるジミーオズボーンを見てください。古いブギーウーギー、ロックンロール、古いトミーロッド、汚物があります。そして日曜日の朝、聖書を取り、説教壇に立って説教します。なんて恥ずべきことでしょう。

聖書が「すべての食卓は嘔吐物でいっぱいです」と言っているのも不思議ではありません。なぜ、私たちは恐ろしい日に生きているのです!

そして人々は「ああ、彼らはとても宗教的だ」と言います。ああ!悪魔が宗教的であることをご存知ですか?カインがアベルと同じくらい宗教的だったことをご存知ですか?しかし、彼には啓示はありませんでした。それだけです。彼には啓示がありませんでした。

ええ、私たちは皆教会に行きますが、命を持っている人もいます。それは彼らの心にイエス・キリストの啓示を持っている人たちです。揺れたり、ジャンプしたり、教会に参加したりすることによってではありません。しかし、啓示、神は彼を明らかにしました。

「人の子である私は誰だと言うのですか?」と言われたことを見てください。

「あなたは「預言者」だと言う人もいます。そして、あなたは「エリヤ」だと言う人もいます。そして、ある人達は…」「では、あなたは誰だと言うのですか?」と言いました。

ペテロは、「あなたはキリスト、生ける神の子です」と言いました。それは彼の唇からではありませんでした。

彼は言いました、「バルヨナ・シモン、あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。あなたはこれを聖書の倫理や神学の神学校で学んだことはありません。あなたはさいわいである。あなたにこの事をあらわしたのは、血肉ではなく、天にいますわたしの父である。しかし、天にいる私の父がそれを明らかにしましたそして、わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てよう。黄泉の力もそれに打ち勝つことはない。」

67 あなたがクリスチャンなら、今朝、あなたは教会に属しているので、あなたは失われています。あなたが死から生に移ったためにあなたがクリスチャンであるなら、あなたは裁きから自由です。キリストに入ると、あなたはいつも完璧になります。神は一つのことを見ることはできません。あなたは「まあ、私は間違いを犯すことはありますか?」と言います。もちろんですが、あなたはそれをしつこくしません。

今、私たちはほんの数分で、「もしわたしたちが、真理の知識を受けたのちにもなお、ことさらに罪を犯しつづけるなら、罪のためのいけにえは、もはやあり得ない。」に関してはなし始めます。今は遅くなってしまったので、今晚そこに入って行きます。

68 これについてもう少しだけ読んでみましょう。もう少し話すならば気分が良くなることでしょう。大丈夫です。さて、今夜、4節から始めましょう。これを聞いてください。

いったん、光を受けて天よりの賜物を味わい、聖霊にあずかる者となり、そののち墮落した場合には、またもや神の御子を、自ら十字架につけて、さらしものにするわけであるから、ふたたび悔改めにたち帰ることは不可能である。

また、神の良きみ言葉と、きたるべき世の力とを味わった者たちが、

…そののち墮落した場合には、またもや神の御子を、自ら十字架につけて、さらしものにするわけであるから、ふたたび悔改めにたち帰ることは不可能である

分かりますか?そして、これが何であるかを示すために、それをヘブライ人への手紙10章を取って、そしていったり来たりしながら見ましょう。

69 友よ、「完璧に進みましょう。」私たちは…持っていません…私たちはそうではありません…今日は言い訳はできません。言い訳は全くありません。天の神はこれらの終わりの時に現れて、彼が前にここにいたとき、彼が地上にいたとき、彼がしたのと全く同じことをしています。私たちがこの聖書を読んでいるとき、彼は証明しました。そして、あなたがた、クラス、私たちが奇跡から奇跡を見、印から印を見、不思議から不思議を見て 彼が荒野で子供達にしたのを知り、彼がしたこととしるしを不思議に思ったことを知っています。彼がこの地上にいたときに彼がしたこと、肉体を撮って現われ。そして今日、私たちの間でもまさにまったく同じことが起こっています。ここにそれを立証するみことばがあります。これが正しいと言うこと、それを正しくすることです。ここに同じことをする神の御霊があるので、言い訳はできません。

祈りましょう。

70 天のお父様! こういうわけで、わたしたちは、このような多くの証人に雲のように囲まれているのであるから、いっさいの重荷と、全ての言葉、全ての間違った、全ての邪悪な言葉、全ての良くない言葉、悪い考え、からみつく罪とをかなぐり捨てて、わたしたちの参加すべき競走を、耐え忍んで走りぬこうではないか。彼の最も比類のない聖なる御名に祝福あれ! 墮落した人を贖い、彼らを主なる神の交わりに戻すために、彼がどのようにして地上に来られたか。そして、私たちがあなたにこれを感謝します。そして今、彼の恵みによって… 私たちは彼を決して選びませんでした。彼は私たちを選びました。彼は言った、「あなた方が私を選んだの

ではなく、わたしがあなたがたを選んだ」。いつ?「天地の創られる前に。」

71 そして、親愛なる神様、今朝ここに座っている誰かは、おそらく何年もの間これを延期してきた人がいるかもしれませんが、常に心を少しノックしているものがあるのです。たぶん彼らは「まあ、大丈夫だろう」と考えて教会に加わったのでしょう。父よ、確かに、その聖句の数々が今朝それを説明しました:あなたは教会の後ろに隠れることはできず、義人になることはできません。また、あなたは善であり、嘘をつき、盗み、悪いことをし、それでも義人であることができません。

私たちが持っている義は、私たち自身のものではなく、神の義だけです。彼は私たちの救いを完成させました。ですから、神の中にいることで、神は私たちの過ちを見ることはありません。私たちが何か悪いことをすると、「父よ、許してください」と叫ぶ霊が私たちの中にあります。その後、神はそれを見ないのです。そしてそれは、私たちは彼との交わりと恵みに連れて行かれます。主よ、私たちがこの礼拝を終える間、キリストの御名によってそれを叶えて下さい。アーメン。

72 ちょっとお聞きしたいのですが、あなたが何をしても、あなたは失われます。これを聞いてください。いつか前に…私は前にそれを言ったかもしれませんが、ここに私に起こった小さな経験があります。

私はオハイオ州のトレドにいました。私はリバイバルの最中にあり、そこで集会を開いていて、とても多くの人々がいました。彼らは私がいるホテルを知っていました。それで彼らは私を田舎に連れて行ってくれました。私はそこに滞在していた、小さなモーテル。

私たちは小さなダンカードレストランで食べていました。それは素晴らしい場所で、そこにいる小さな女性たちは、クリスチャンで聖人のように見え、清潔で本当に素敵でした。日曜日が来て、お腹がすいていました。私は少し断食していた。そして、私は通りを渡って別の場所に行き、少し注文したい。角を曲がったところに小さな道があり、そこには普通の、一般的な、アメリカの食事をする場所がありました。小さな、小さな場所、カフェがあり、一晩中開いていました。その日曜日の午後2時ごろにそこに入ったとき、その午後に説教するために降りる前に、私はとても得られて、何をすべきか分かりませんでした。

73 私が入って来て、最初に気付いたのは、16歳、18歳くらいの若い女性、パパの最愛の人、母親の最愛の人に、ある男の子と彼女が手を腰に当てて立っていたのです。たくさんのティーンエイジャーがカウンターに座っていました。

スロットマシンの音を聞きました。ここを見渡すと、警官が腕を組んで女性の周りに立っていて、彼女のウエストラインを上にして、スロットマシンを弾いていました。さて、あなたはオハイオ州でギャンブルとスロットマシンが違法であることを知っています、あなたがたはここバックアイの人々です。そして、あなたはそれが違法であることを知っています。そして、ここにスロットマシンをプレイする法律がありました。そして私の年齢の男性、おそらく結婚していて、たくさんの子供たち、おそらく祖父です。警官、道路パトロール、スロットマシンで遊んでいるのです。あの若い人がいました…ティーンエイジャーは何をしましたか?これは何をしたのですか?

74 私はそこに立っていました。誰も私が入ってくるのに気づかなかった、彼らは忙しすぎて、彼らの半分は酔っていた。だから、私は見ました。「まあ、雨がルバーブを傷つけますか?」と誰かが言うのを聞いた。そして、ここを見回して、ここに女性が座っていました、おばあさん、本物の…彼女は65歳から70歳で、それに近かった。そしてそのかわいそうな女性…私は誰もが自分の最善をしていることを非難しません。しかし、彼女が…彼女は自分を直し、髪を青く、本当に青く見せようとしていたのです。そして、全て上から切り取って、それを本当に青くしていたのです。そして、彼女は本物の厚いマニキュア、またはあなたがた彼女の顔に置いたものと呼ぶもの、そして大きな斑点を持っていました。そして、彼女は小さな小さなショーツを履いていました、そして、かわいそうな年寄り、肉がたるんで、肉が彼女の足の上にそのようにぶら下がるまで、とてもしわが寄っていました。そして彼女は酔っていた。彼女は老人と一緒にそこに座っていました、そしてそれは夏の間、これらの古い灰色の軍のオーバーコートの1つ、またはオリーブ色のくすんだものを着ていました。それはそのようにぶら下がっていて、彼の首の周りに大きなスカーフがありました。酔っ払い、彼ら二人、そして彼らはこのかわいそうな老婆と一緒にいました。

75 私はそこに立って周りを見回しました。私は言いました「神よどうしてあなたはそれに耐えられますか何一何…あなたはそのようなことをどのように見えていますか?恵みによって救われた罪びとである私に、あなたがそれをどのように見るかを考えられるのでしょうか?つまり、それはあなたが物事を破裂させたように見えます。私の小さなレベカとサラはそのような影響を受けて育たなければならないのでしょうか?私の2人の

小さな娘達は、人々がそのように行動する、今日のように人気があり、よく知られている世界に出会う必要がありますか？神様、どうすれば…私には何ができるでしょうか？」

もちろん、それは彼の恵みです。彼らが永遠の命に定められたなら、彼らはそれに来るでしょう。そうでなければ、彼らはしません。わかりません。それは神次第です。私が自分の役割を果たします。

76 私は思いました「神様、どうして我慢できますか？あなたはとても聖なるので、そのことを地球から一掃するだけのように見えます。」私は言いました。「あのかわいそうなおばあちゃんがそこにいるのを見てください。そこにいるあの少女を見てください。そして、ここに立っているのはおそらく25歳の女性です。そして、その警察は彼女の腰にガンを持ちながら、スロットマシンで遊んでいました。そして、法律があります。国はなくなりました。母性がなくなっています。長老はいなくなりました。そして、そこに若い女の子がいて、彼女はいなくなっています。彼らが教会かどこかにいるべきなのに、その少年たちを見てください。」

私は言いました「神よ私に何ができますかそして、ここで私はこの街にいて、心から泣いています。彼らはそれを無視して、まるで彼らがそうであるかのように歩きます…」「えっと、神様？」と思いました。

さて、それから考えが来ます、「私が彼らと呼ばなければ、どうやって彼らは来ることができるだろうか？父が私に与えたすべてが来るでしょう。「あなたには目がありますが、あなたは見ることができず、耳があっても、聞くことが出来ません。」

「まあ、リバイバルの代わりに大統領が町に来ると、みんな出てくるだろう」と思いました。ああ、確かに、それは世俗的です。」

それから私は考えました。「まあ、神様、どのように、どうしてあなたはただ行って、来て、イエスを送って、それを終わらせないのでですか？どうしてただ、ただ行って、すべてを手放して、それを行かせるのですか？」

77 それから私は何が私の前で動いているのを見始めます。このように少し渦巻いているように見えました。私はそれを見続けました。私は世界がぐるぐる回っているのを見ました。私はそれを見て、それが何かを吹き付けていたところを見ました。私が見たところ、それは世界中の真っ赤な真っ赤な血のしぶきでした。まるで彗星のようにぐるぐる回っていて、このようにぐるぐる回っていました。そして、私はこの旋風を見ました。そしてそのすぐ上で、私は幻の中にイエスを見ました。彼は見下ろしていた。そして、私は自分がこの地上に立って、すべきでないことをしているのを見ました。そして、私が罪を犯すたびに、神は私を殺していたでしょう、「なぜなら、あなたがそれを食べる日に、あなたはその日に死ぬ」。そして、神の聖さと正義が要求されると、あなたは死ななければなりません。そして、私はそこを見ました。私は目をこすり続けました。私は言いました「私は…私は決して眠りにつくことはありませんでした。私は…それは幻なのです。これは幻だと確信しています。」

78 扉の後ろに立っている間、私は見続けました。そして、私は自分の罪が現れるのを見ました。そして、彼らが王位に就き始めるたびに、彼の血は車のバンパーのように振る舞います。それがそれを捕まえました、そして私はそれが揺れるのを見るでしょう、そして血は彼の顔を流れ落ちるでしょう。そして私は彼が手を挙げているのを見て、「父よ、彼を許してください、彼は彼が何をしているのか分かりません」と言いました。

私は自分が何か他のことをしているのを見ました、それは再び彼を揺さぶりました、ぶつかりました。それはあったでしょう、神はその時私を殺したでしょう、しかし彼の血は私を捕まえていました。それは私の罪を抱えていました。私は思いました、「神よ、私がそれをしましたか？確かにそれは私ではありませんでした。」しかし、そうでした。

その後、私はあの部屋を通り抜けるようにこのように歩き、彼の近くに行くために歩きました。そこに本が置かれているのを見て、その本に私の名前が書かれていて、あらゆる種類の黒い文字が書かれていました。私は言いました「主よ、これをしてごめんなさい。私の罪があなたにそれをさせましたか？私はあなたの血を世界中に回しましたか？主よ、私はあなたにこれをしましたか？それをしたことをとても悪かったと思っています。」そして彼は手を差し伸べました。私は言いました「許して下さいますか？私はそうするつもりはありませんでした。私は…あなた、あなたの恵みによって、あなたが私を助けてくれるなら、私はより良い男になろうとします。」

79 彼は彼の手を取り、彼の側を軽くたたき、彼の指を取り、私の本に「許された」と書いた。彼らの後ろにある忘却の海にそれを投げ捨てました。それを少し見ていました。そして彼は言った、「今、私はあなたを許します、しかしあなたは彼女を罪に定めたいのです。」分かりますか？「あなたは許されていますが、彼女はどうか

ですか?あなたは彼女を爆破したいのです。彼女に生きてほしくないのです。」

私は思いました。「神よ、許してください。そう考えるつもりはありませんでした。私はそんなことはしたくありませんでした。私一私一私はそんなことはしたくありませんでした。」

「あなたは許されています。あなたは大丈夫だと感じています。しかし、彼女はどうですか?彼女もそれを必要としています。彼女はそれを必要としています。」

「まあ」と私は思いました。「神様、あなたが誰を召され、誰は召されていないという事をどのように知るのですか?」みんなと話すのが私の仕事です。

80 それで、その幻が私を去ったとき、私は彼女のところへ歩いて行きました。私は「初めまして、ご婦人?」と言いました。そして二人の男性達はトイレに行っていました。そして彼らは…彼女はそこに座って、しゃつくりをしながらね、笑っていました。彼らが飲んでいてテーブルの上に置かれたウイスキーのボトル、またはビール、それはアルコールの置かれた場所でした。私は歩いて行った。私は「ご機嫌いかがですか?」と言いました。

そして彼女は「ああ、こんにちは」と言いました。

そして私は「座ってもいいですか?」と言いました。

彼女は、「ああ、私は仲間ができた」と言いました。

私は「そういう意味ではありませんでした、姉妹」と言いました。

私が彼女を「姉妹」と呼んだとき、彼女は私を見ました。彼女は「何が欲しいの?」と言いました。

私は「ちよつとだけ座っても良いですか?」と言いました。

彼女は「ご自由に」と言いました。そして私は座った。

私は彼女に何が起こったのかを話しました。彼女は「あなたの名前は?」と言いました。

そして私は「ブラナム」と言いました。

彼女は言いました、「あなたはこのアリーナにいる人ですか?」

私は「はい、奥様」と言いました。

彼女は「私はそこに行きたいと思っていました」と言いました。彼女は言いました。ブラナムさん、私はクリスチヤンの家庭で育ちました。」彼女は言いました。「クリスチヤンの若い二人の娘がいます。しかし、確かに、ある特定のことが起こりました」そして彼女は間違った道に行ったか、始めました。

81 私は言いました、「でも、姉妹、私は気にしません、血はまだあなたの周りにあります。この世界は血で覆われています。」そうでなければ、神は私たち一人一人を殺してください。彼は…その血が動かされた時、裁きに気をつけてください。しかし今、もしあなたがその血なしで死んだ場合、あなたがたはその場所を超えて行き、あなたのために行動するものは何もありません。今日、血はあなたの代わりに行動します。私は言いました、「ご婦人、確かに、血はまだあなたを覆っています。あなたがあなたの体に息を吸っている限り、血はあなたを覆っています。しかし、いつか息がここを去ると、魂が消え、あなたはその血を超え、裁きしかありません。許しの機会を得ている間…」そして私は彼女を手を取った。

彼女は泣いていた、と言いました。ブラナムさん、私はお酒を飲んでいきます。」

私は言いました「それには害はありません何か、別の人が私にあなたに話しに来るように警告しました。」私は言いました、「神は、天地の創られる前に、あなたを召されていたのです、姉妹。そして、あなたは間違ったことをして、それを悪化させているだけです。」

彼女は言いました、「あなたは彼が私を持っていると思いますか?」

私は「絶対に、彼はあなたを持っているでしょう」と言いました。

そこで彼女はひざまずいて、私たちはその階の真ん中に降りて、昔ながらの祈りの集会をしました。その

警察は彼の帽子を脱いで片膝をついて頭を垂れておられました。そこで、その場所で祈りの集会がありました。なぜですか？神は主権者です。

「これらの死んだ業を脇に置いて、完璧に進みましょう。」

これらの領域に移りましょう。「私は教会に属しています。私はそれに属します」と言いました。それらは皆終わりました。そして、完璧に行きましょう。

82 私の罪人の友よ、もしあなたが今日血も、救いも、恵みもないなら、イエス・キリストの血があなたを抱きしめます。あなたは「まあ、私はこの間ずっと持っていました」と言います。しかし、いつの日か、何もあなたのために行動を起こさない場所に行くことになります。

頭を下げている間、祈りましょう。

今日ここにいる人で、「神様、私を憐れんでください、私が間違ったことをしたことに気づいています」と言いたい方がいますか？多分あなたは教会に加わったでしょう。それは良いでしょう。しかし、もしあなたがキリストの恵みを受けていないなら、手を挙げて「私のために、ブラナム兄弟祈ってください」と言いますか？神はあなたを祝福します、ミスター。神はあなたを祝福します、レディ。そうです。しないでください…その後ろに座っている方、神の祝福がありますように。神はあなたとあなたを祝福します。ずっと後ろの方に座っている方、はい、神の祝福がありますように。手を挙げてください。そうです。手を挙げて、「神様、私を憐れんでください」と言ってください。

83 あなたは言います、「私は教会に属しています、ブラナム兄弟。はい、私は一良くなるように努力しましたが、わかりません。私はそれができないように見えます。」ああ、貧しい巡礼者、貧しい老朽化した友人、あなたは本当にその幻をまだ見たことはありません。

あなたは言います、「ブラナム兄弟、私は叫んだ。私は異言で語りました。私はこれをすべてやりました。」それも本当かもしれない。それは大丈夫です、それに対して言うことは何もありません。

しかし、私の親愛なる、失われた友人ですが、異言で語ったり、握ったり、握手したり、バプテスマを受けたりすることは、それで大丈夫です。しかし、彼を知ることは人を知ることです。「彼を知ることは命です。」

あなたは「私は聖書をよく知っています」と言います。さて、聖書を知ることは命ではありません。「彼を知ること」、個人的な代名詞、「彼を知ること、キリスト」、あなたは彼があなたを許したことを知っています。

もう一度、誰か他の人に手を挙げていただけませんか？神の祝福がありますように、ご婦人。神の祝福がありますように。神の祝福がここにありますように、兄弟。神はその後ろに座っているあなたを祝福します、若い男。神はここにいるあなたを祝福されます、姉妹。その後ろの方に座っているあなたを神が祝福されますように。そうです。「彼を知ることは命です。」

「ブラナム兄弟、私を覚えておいてください。私は今、ここの私の席にいて、キリストを受け入れるつもりです。」

84 「主イエスよ、私の心に来て、その平安とやさしさを私に与えてください」と言います。教会に行き、できるだけ一生懸命に音楽を演奏し、上下に踊り、通路を駆け抜けます。家に帰って、心配して、投げて、大騒ぎするとしても、それはキリストではありません。あなたは教会に行き、橋がどのように塗られるかについての小さな説教を聞いてください、あるいはそのような別のものは決してみことばを聞きません。みことばは命をもたらします。それは種子(子孫)です。平安を望んでいませんか？

あなたは死ぬことを気にしていますか？今日は心臓発作がありますが、心配ですか？それとも、「この道の終わりに主イエスと一緒にいる」と言って喜んでいただけますか？あなたは彼を知っていますか？そうでない場合は、手を挙げてください。私たちはあなたのために祈りを尋ねる予定です。はい、兄弟、あなたも。

大丈夫、今あなたの心の中で。

私と同じように、一つの嘆願もなしに、

しかし、そのあなたの血は私のために(誰のために?)流されました、

私が約束するので、私は信じます、

子羊よ、神の子羊よ、私は来ます。私は優しく、憐れみ深く来ます。

ちようど…

信仰によって、ただ彼のところまで歩いてください。彼があなたのそばに立っていると信じてください。彼はそうです。

…-ない

私の魂を(今どれくらい?)1つ…(気性、悪意)から取り除くために、
血が各スポットを清めることができる彼に、
おお子羊…

「今朝、信仰によって十字架まで歩きます。私は自分の重荷を負わせません。私は来ます。」神はそこに戻ってあなたを祝福します。それは良いことです。[ブラナム兄弟は「私のままで」をハミングし始める—編集]今こそ、無関心にならないでください。暖かく、優しく、十字架まで歩いてください。

85 旧約聖書では、彼らは子羊を連れてきました。彼らは自分たちが罪を犯したことを知っていました、彼らは戒めによってそれを知っていました。神があなたの心に語られたので、あなたは今それを知っています。彼らは戒めを見て、「姦淫してはならない。あなたはあれこれをしてはならない。」そして彼らは子羊を連れて行き、子羊に手を置き、司祭が喉を切りました。その小さな羊は蹴り、血を流し、息が途絶えて、そして死にかけていました。彼の手はすべて血で覆われていた。子羊は彼の代わりに死にました、しかし彼は再びそれをしたという同じ願望で出て行きました。

しかし、この場所では、私たちは信仰によって、恵みによってやって来ます。神は私たちを呼ばれました。私たちは神の小羊の頭に手を置きます。その揺れるハンマーが聞こえます。私たちはその声を聞きます。「私はのどが渇いています。私に飲み物をください。父よ、この罪を彼らの責任に負わせないでください。彼らは何をしているのか知らないのです。」分かりますか?信仰によって、私たちの代わり死なれたそこでの彼の死を感じます。声がこう言うとき、私たちの心の奥深くに落ち着いた深い平和が訪れます。「あなたは今、許されています。行ってもう罪を犯さないでください。」では、恵みによって、私たちは同じ願望ではなく、これ以上罪を犯したり、何か悪いことをしたくないという願望を持って立ち去るのです。すべての理解を通過する平和が私たちの心に入ってきました。

私たちが皆で一緒に祈っている間、あなたが今それを受け取りますように。

86 天のお父様、彼らは信仰によって、恵みによって来ています。約12人の手が挙がりました。それはメッセーの成果です。彼らはあなたのところに来ます。彼らは信じています。主よ、私も彼らを信じています。本当に、聖霊が彼らに語られたと私は信じています。そして信仰によって、彼らは今、ヤコブのはしごのすぐ上、十字架のふもとまで来て、そこにすべての罪を置き、「主よ、それは私にはやりすぎです。私はただもうそれを負いきれません。そして、あなたは私の罪の重荷を取り除き、そうすることへの私の心からの願望を取り除いて下さいますか?そして、今日、信仰によって、あなたを私の個人的な救い主として受け入れさせてください。そして、これからは、旅の終わりまで、あらゆる道のりであなたに従います。教会に行かずに「完璧に行く」とはどういうことか、バプテスマなどの死んだ業のルーツを垣間見ることが出来ます。しかし、私はこれ以上続けていくことが出来なくなるまで、キリストが私の中で生きられるようになるまで、続けていきたいのです。」

87 オー、イエス様、今朝、これをそれぞれの悔い改めた魂に与えてください。あなたが約束したので、手を挙げた人はみな永遠の命を受けるでしょう。彼らは公に受け入れた。彼らは手を挙げます。彼らはすべての重力の法則を破った。彼らは科学により恥じ入らせました。なぜなら科学は「あなたの腕は垂れ下がらなければならない」と言っているからです。科学では、重力がそれを抑えているので、地球に縛られたままでなければならないことを証明するものは何でもありません。しかし、彼らには決断を下す霊がいて、彼らは重力の法則に逆らい、手を挙げました。主よ、あなたはそれを見ました。あなたは彼らの名前を本に書きました。「許されていました。」古い本は今、忘却の海に戻ってきました。もう決して思い出されることはありません。愛情深く、優しいクリスチャンとして、あなたに仕えるために、今日彼らを前進させましょう。そして、手を挙げなかった多くの人も、彼らのために叶えて下さい。

主よ、聖徒たちをもう少し近くに歩かせてください。私たちは昨日よりも一日家に近いからです。主よ、あなたは私たちと一緒にいてください。私たちはそれをキリストの御名によって、そして彼の栄光のために求めます。アーメン。



www.messagehub.info

伝道者

ウィリアム・マリオン・ブランナム

"...第七の御使いが吹き鳴らそうとしているラッパの音が響くその日には..." 黙示録 10:7